



法人・施設紹介

阿賀北総合福祉協会は、阿賀野市で1977年に県内で9番目の特養として設立され、地域と共に40年余り、市内を拠点に高齢者・障害者福祉を目的とした、総合福祉協会として6施設13の事業展開を行ってまいりました。



職場選び3つのポイント!

職場の人間関係を良くするために

年齢関係なく、持ちつ持たれつ!

上下の関係だけではなく、横の繋がりを大切にしています。年齢に関係なく発言ができること、助けてもらいたい時には甘えることができ、誰かが大変な時は助けに行く、職員同士が助け合える環境を目指しています。



スタッフの声

Staff Voice!

男性も女性も関係なく、和気あいあいな空気感が魅力的な職場です。経験者はもちろん、未経験からの方でも安心して働けます。また、安定的な収入が魅力的な仕事です。一緒に働いてくれる方、お待ちしております。

新人職員へのサポート

1年間のじっくり教育!

法人で作成した、OJTマニュアルに沿って新人職員に合わせた期間(約1年間)で、徐々に仕事に慣れていただき、夜勤などを含め一人で行動できるまでサポートさせていただきます。

中堅・ベテランスタッフへのサポート

アウトプットすることで着実にスキルアップ☆

本人の希望する研修はもちろん、中堅職員として必要な研修を受講してもらっています。また、法人でも研修を行い、知識と技術の向上に努め、研修参加後は施設内で伝達研修を行い指導するスキルアップも図っています。

資格取得支援

資格取得受講料助成金あり☆

初任者・実務者研修、介護支援専門員の更新研修で受講料の一部助成があります。喀痰吸引資格取得では保険料以外全額、その他各部署で必要な資格に対して一部もしくは全額助成しているものがあります。

結婚・出産・妊娠・育児のサポート

男性職員も育児休暇取得実績あり!

結婚、出産時に特別休暇とお祝い金支給。出産前に時間外や夜勤労働の制限、育児休暇取得は男性職員でも実績があります。育児休暇後は短時間勤務や子の看護休暇などもあります。また、親の介護休暇の実績もあります。

給与面で工夫している点

賞与4か月分と好待遇☆

賞与は年2回(合計4か月分)。人事考課による昇給。各資格手当(最大1万円)。諸手当(住宅手当、通勤手当等)。年1回支給 変動あり(処遇改善手当:~31,000円、特定処遇改善手当~17,000円)

休日面で工夫している点

年間休日120日以上!

入職時より有給付与(最高20日)、年度繰越有給20日可能で最大40日間になります。年間休日は約120日、シフトの希望休は3日を設けています。5日間の有給取得義務の他、計画的に取得して下さい。

社会福祉法人 阿賀北総合福祉協会 特別養護老人ホーム やすだの里

最新の求人情報



- 募集職種 ▶ 介護職員(正職員) ※契約職員は要相談
- 給与 ▶ 139,502円~199,300円(処遇改善・特定処遇改善は含まず)
- 仕事内容 ▶ 介護業務全般
- 資格 ▶ 不問(初任者・実務者研修があれば尚可)
- 勤務時間 ▶ (1)7:00~16:00 (2)8:00~17:00 (3)10:00~19:00 (4)16:45~9:45
- 休日 ▶ 年間休日120日 シフト制
- 待遇・福利厚生 ▶ 各種社会保険加入、賞与年2回、退職金制度加入(勤続3年以上)、処遇改善・特定処遇改善手当、年1回昇給、資格取得の助成制度、ソウエルクラブ加入(各種割引チケット、施設利用の優待サービス、入学祝い商品券贈呈等)

問い合わせ

※電話の際に「コマチの介護フリーマガジンを見た」とお知らせください。

求人問い合わせ電話番号 (担当: 植木)

☎0250-68-1510

特別養護老人ホーム やすだの里  
阿賀野市保田5683番地23  
<https://agakita.or.jp/>



社会福祉法人 阿賀北総合福祉協会 特別養護老人ホーム やすだの里

介護ブロッガーのCHECK!

介護ブロッガー



社会福祉法人ゆうしん  
特別養護老人ホームくるま乃  
施設長 相馬 房嘉さん

1 施設内は人間関係が良く何でも言い合える

離職率が低く、どうしても辞める人も親御さんの介護などやむを得ない理由の場合がほとんど。そのためチームワークは抜群で、スタッフ同士の思いやりの気持ちが高く、困ったときは助け合う精神が根付いている。カンファレンスを行えばそれぞれの職種立場での意見が出るが、向いている方向は一緒なのでご利用者への自分の想いを言い合える文化が出来ている。園長は現場スタッフでの話し合いを重視しており、その流れを作ることを心掛けていました。



2 休暇が取りやすい

年間休日数は120日。有給休暇も完備。有給休暇は入職後にすぐに20日間付与され、新入職員は様々な手続きが必要になるような環境と安心して休めるようにしている。また女性のみならず男性の育児休暇も安心して取れる環境となっており、昨年度には男性スタッフが1ヶ月の育児休暇をとったときも、快く同僚スタッフが送り出して、お互い様の精神で業務はスタッフみんなが助け合って行っていました。



3 介護システムなどの積極導入

現在の介護ソフトは5年前から導入し、タブレットもいち早く現場で活用している。介護システム導入により情報の共有化が出来るようになった。緊急対応やその日の仕事の進み具合によって業務時間内に入力が間に合わない場合は、決してサービス残業などにはせず超過勤務として申請するようにアナウンスしている。また、介護ロボットスーツHALを導入するなど、職員の介護負担を軽減に向けて積極的に各種システム導入に取り組んでいました。



課題・目標



スタッフの想いを形にしたい

ご利用者だけでなく、普段からご利用者の目線でケアを考えているスタッフも、コロナ禍で提供サービスなどで様々なことを我慢している。そんな中、ワクチン接種も進んでおり全国的に感染収束に向けた兆しが見え、様々な規制が緩和されたら、ご利用者・スタッフがやりたいと想えることをどんどん形にしていけるように施設として全力でバックアップしていく。まずは、ご利用者とスタッフが一緒に回転寿司を食べにいくところでしょうか(笑)